



田鶴小学校学校通信

夢・挑戦

令和四年五月二十日
第二号
「文責」 梅本知江

OKからLEET、Sへ

スクールプランの承認

四月二十六日（火）令和四年度第一回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会とは、子供達の豊かな成長のために、共通の目標に向かって、学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、協働してみんなで教育を実現していくこうとする仕組みです。

この学校運営協議会の役割の一つに『学校運営の基本方針』を承認することが定められています。本年度承認された学校経営方針である「スクールプラン」を裏面に記載していますのでご確認ください。

さて、この「承認」には、「OK（いいですよ）」というだけでなく、LEET、S（一緒にやりましょう）」という意味が込められています。

「人づくりはまちづくり」と言われます。子供達が生きる未来を見据えながら、学校にとっても地域にとってもプラスになる取組を、学校、家庭、地域みんなで力をあわせて、一緒に進めていきたいと思っています。

「OKからLEET、Sへ」
よろしく願います。



【本年度学校運営協議会委員】

会長：伊藤 房次（元育友会会長）

副会長：佐々木 俊博（元小学校長）

委員（五十音順）

栗山 仁美（有田市連合婦人会会長）

雑賀 拓次（田鶴小学校育友会会長）

嶋田 雅公（辰ヶ浜地区連合自治会長）

嶋田 勇嗣（宮崎公民館長）

田中 悦子（民生児童委員協議会宮崎地区理事）

玉置 紀美（宮崎地区青少年育成会長）

（敬称略）

「寄付をいただきました」

本校卒業生、池下スマ子様から壹百万円のご寄付をいただきました。五月二十日（金）には、校長室にて贈呈式を行いました。用途については、子供達のための遊具を購入したいと考えています。ありがとうございます。



購入予定の遊具もご覧頂きました

体験 発見！わたしたちのまち

五月二十六日（木）、三年生が、工場で働く人の苦勞や工夫を調べるためにかまぼこ工場の見学に行ってきました。三十日（月）には、町探検で、しらす工場や浜のうたせにもお邪魔させていただきました。実際の現地で見学したり体験したりすることは、自分たちが机上で学習していることと実際の社会がつながる大切な機会になります。

（株）紀州有田蒲鉾、しらすや福扇、箕島漁業協同組合の皆様、その他お世話になった地域の皆様、ありがとうございました。



畑と最強の友達

生活科の学習で、一年生はさつまいも、二年生は夏野菜を育てています。毎朝、授業が始まる前には、自分の畑に水をあげたり、草を引いたりとお賑わいです。

その一画に、子供達が理科の授業で使うための植物を植えた畑があります。

ある日、登校前のほとんど子供達が来ていない時間、この畑に入って熱心に草を引いたり、土を盛ったりしている男の子を見かけました。何気なく会話を聞いていると、「ここはな、ぼくの最強の友達畑なんだ。」

と、そばにいた仲間に嬉しそうに話していました。

「男の子の最強の友達は、このことに気づくかなあ」と温かい気持ちになりました。そして、誰しも自分の知らないところで、誰かが支えてくれたり、助けてくれたりしていると、改めて教えられたような気がしました。